

工業「電気機器」(選択科目)	単位数	2単位
	学科・学年	電気科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	電気機器およびパワーエレクトロニクス技術に関する知識を習得させ、現代産業を支える技術の習得に必要な基礎を身につける。
使用教科書・副教材等	電気機器 新訂版 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	4章 誘導機	4	・誘導機の回転原理を理解する。	中間
		5	・誘導機の構造などの名称を理解する。	
		6	・滑りの知識を深める。	期末
		7	・各種特性や等価回路を理解する。	
2 学期	5章 同期機	8	・同期発電機の仕組みを理解する。	中間
		9	・電機子反作用など特性曲線を理解する。	
	6章 小形電動機と電動機の応用	10	・同期電動機の構造を理解する。	期末
		11	・小形電動機の仕組みを理解する。	
3 学期	7章 パワーエレクトロニクス	12	・電動機の応用例を学ぶ。	学年末
		2	・パワーエレクトロニクスの応用例を学ぶ。	

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	電気機器について興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 その知識を役立てようと実践的な態度が身についている。
思考・判断・表現	電気機器の知識を実習と関連付けて活用できる。 電気機器の適切な活用法を判断できる。 電気機器におこる事象を適切に表現できる。
技 能	電気機器を活用する技術を身につけている。
知 識 ・ 理 解	社会における電気機器の進展とその意義や役割を理解し、基本的な知識を身につけている。
学習状況は、定期考査を基本として、上記の4つの観点を含めた授業中の諸活動(小テスト、ノート、課題提出、発表)や出席状況などにより総合的に評価します。	

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

<p>「電気基礎」を発展させた内容が多いので、十分復習を行ってください。</p> <p>わからない内容は早めに質問し、問題解決しましょう。</p> <p>いろいろな計算方法を学習しますが、単に暗記だけではなく演習問題を反復し、理解を深めてください。</p> <p>定期考査前には整理したノートやプリントを再確認しましょう。</p>
